

## 三菱 LED 照明器具

居室用シーリング

形名	6畳	8畳	12畳
トリムレス 調色調光タイプ	EL-CP3417M 1HZ	EL-CP3917M 1HZ	EL-CP5217M 1HZ

## 取扱説明書

このたびは三菱 LED 照明器具をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

- ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- 「取扱説明書」と「保証書」は大切に保存してください。
- 添付の「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口のご案内」は、大切に保存してください。

工事店様へ  
工事終了後試運転を行い、この「取扱説明書」を必ずお客様へお渡しください。

## もくじ

ページ

### ご使用前の前に

安全のために必ずお守りください	2
LEDについて	3
定格	3
取付前の確認	3

### 使いかた

各部のなまえ・付属部品	4
取り付け手順	5
リモコン送信機について	6
リモコンで操作する	7
シーンの設定について	8
タイマーの設定について	8
壁スイッチで操作する	9
取り外し手順	9

### お手入れ

器具のお手入れ	9
---------	---

### 故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に	10
保証とアフターサービス	11
愛情点検	12
ご相談窓口・修理窓口のご案内(家電品)	12


# お客さまへ


ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。






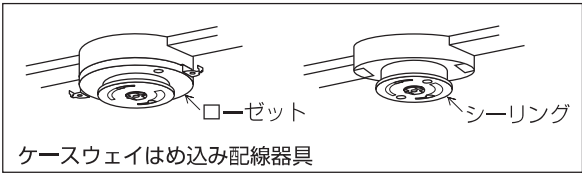
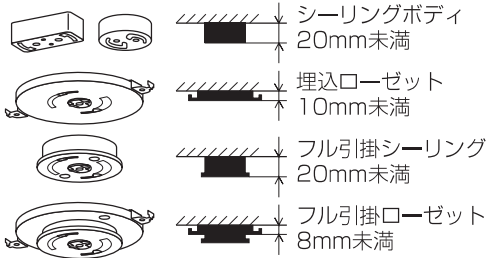




## 安全のために必ずお守りください

図記号の意味は次のとおりです。

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を **△警告**、**△注意** の表示で区分して説明しています。表示の意味は表中で説明しています。

 絶対に行なわないでください。

 必ず指示に従い行なってください。

 <b>警告</b>		誤った取扱いをしたときに、死亡や重症などに結びつく可能性があるもの	
 厳守	<p>器具の取り付けは、説明書に従い確実に行う。 (器具の取り付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因)</p>	<p>下図のような場所や配線器具の場合、取り付けない。 (火災・感電・落下によるけがの原因。配線器具の交換には資格が必要。工事店・電器店に配線器具の交換を依頼する)</p>	
 禁止	<p>このような場所には取り付けない。 この器具は天井取付専用器具です。傾斜天井・壁などには取り付けできません。不安定な場所やベニヤ板などの強度の弱い場所、使用後のネジ穴には取り付けない。 (器具の落下によるけがの原因)</p>  <p>傾斜天井    壁面    不安定な場所    補強のない場所</p>	 <p>傾斜天井    変形天井    サオブチ天井    格子天井</p>	
	<p>器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しない。 (火災・感電・落下によるけがの原因)</p>	 <p>ケースウエイはめ込み配線器具</p> <p>●配線器具の出しろが少ないもの</p>  <p>シーリングボディ 20mm未満 埋込ローゼット 10mm未満 フル引掛シーリング 20mm未満 フル引掛ローゼット 8mm未満</p> <p>●破損している</p>  <p>ヒビ割れ 欠けている</p> <p>●電源端子露出形</p>  <p>電源端子</p> <p>●必ず指示に従い行なってください。</p>  <p>グラツキや ガタツキ</p>	
	<p>器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まない。 (感電・故障の原因)</p>		
	<p>器具を布や紙などでおおって使用しない。 (火災の原因)</p>		
	<p>表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で使用しない。 (火災・感電の原因)</p>		
	<p>器具の真下にストーブなど高温の物を近づけない。 (過熱し、火災の原因)</p>		
	<p>器具に可燃物を近づけない。 (火災の原因)</p>		
	<p>周囲温度5~35℃、湿度45~85%RHの環境以外では使用しない。 (火災・感電の原因)</p>		
	<p>屋内専用器具です。湿度の高い場所や屋外で使用しない。 (火災・感電の原因)</p>		
	<p>調光器では使用しない。 (過熱し、火災の原因)</p>		
 厳守	<p>天井に配線器具が付いていない場合は、電気工事店(有資格者)に取付工事を依頼する。 (工事には資格が必要)</p> <p>異常を感じた場合は、速やかに電源を切る。 (放置すると火災・落下によるけがの原因。工事店・電器店にご相談ください)</p> <p>アダプタは専用(付属部品)のものを使用する。 (専用のもの以外を使用すると、破損・落下の原因)</p> <p>アダプタと本体は確実に取り付ける。 (落下、けがの原因)</p>		



# 注意

誤った取扱いをしたときに、軽症または  
家屋・家財などの損害に結びつくもの

 禁止	<p>点灯中や消灯直後は器具が高温のため触らない。 (やけどの原因)</p>	 禁止	<p>セードを正しく取り付け後は、セードを無理 に回さない。 (器具の破損、落下によるけがの原因)</p>
	<p>器具にボールなどの物をぶついたり、衝撃を与 えない。 (器具の落下によるけがの原因)</p>		<p>取り付け、取り外し、お手入れの際は電源(壁 スイッチまたはブレーカ)を切る。 (感電の原因。コネクタ差し込み時にLEDが点 灯して目を傷める原因)</p>
	<p>セードを外したまま使用しない。セードを外し て、点灯しているLED光源を直視しない。 (長時間光を直視すると目を傷める原因)</p>		<p>セードを取り付け後、軽く下に引っ張り、外れ ないことを確認する。 (取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけ がの原因)</p>
	<p>アダプタ側コネクタや電線を無理に引っばらな い。コネクタを無理に引き抜かない。 (電線が断線し、感電、故障の原因)</p>		<p>本体がアダプタから外れた際、本体が落下しな いように、確実に本体を押さえながら作業する。 (手を離すと本体落下によるけがの原因)</p>
	<p>みがき粉・ベンジンなどの揮発性のもの・合成 洗剤・化学ぞうきんでふいたり殺虫剤をかけたり しない。 (セードの割れ、傷、変色および落下によるけが の原因)</p>		<p>お手入れ・保守点検の際は手袋を着用する。 (着用しないとけがの原因)</p>
<p>・照明器具には寿命があります。設置して8～10年経 つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行して います。点検・交換をおすすめします。 LED光源は寿命が来ても、暗くなりませんが点灯し続 けます。点灯できるからといって継続して使用が可 能というわけではありません。 ※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。</p>		<p>・1年に1回は日本照明工業会の「安全チェックシート」 に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等 の専門家による点検をお受けください。点検せずに長期 間使い続けると、まれに発火・感電・落下などに至る場 合があります。 ※「安全チェックシート」は(一社)日本照明工業会のホームページよりダウンロー ドできます。URL <a href="http://www.jlma.or.jp">http://www.jlma.or.jp</a></p>	

## LEDユニットについて

- LED光源寿命(光束維持時間)は、40,000時間です。  
光束が70%以下になるか、不点灯になるまでの時間で、照明器具の保証寿命とは異なります。
- LEDのみの交換はできません。
- LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- 電源ON時にスイッチが点灯する表示付スイッチを使うと、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。

## 定格

形名	仕様	定格電圧 (全点灯時)	定格電圧	定格周波数	保安灯点灯時 消費電力	消灯時 待機電力
EL-CP3417M 1HZ(～6畳)		29.4W	AC100V	50/60Hz	1.1W	約1.0W
EL-CP3917M 1HZ(～8畳)		33.3W				
EL-CP5217M 1HZ(～12畳)		45.1W				

※リモコン送信機で消灯した場合、約1Wの電力を消費します。

※長時間使用しない場合、壁スイッチをOFFにしてください。

## 取付前の確認 ⚠ 警告 配線器具の取付・交換は工事店・電器店へ依頼する。(火災・感電の原因)

### 1 天井に右図の配線器具がついている場合

電気工事は不要。取り付けられている配線器具  
が確実に固定されているか確認する。

※配線器具の出しろが少ないものは使用しない  
てください。(P2「安全のために必ずお守りください」を参照)



シーリングボディ



フル引掛  
シーリング



埋込ローゼット



フル引掛  
ローゼット

### 2 配線器具がついていない場合

天井に上図の配線器具が設置されていない場合は取り付け  
られません。

電気店・工事店にご相談ください。

配線器具などの工事は、電気工事の有資格者による施工が  
義務づけられています。

お客様ご自身では据付けしないでください。

(安全や機能の確保ができません。)



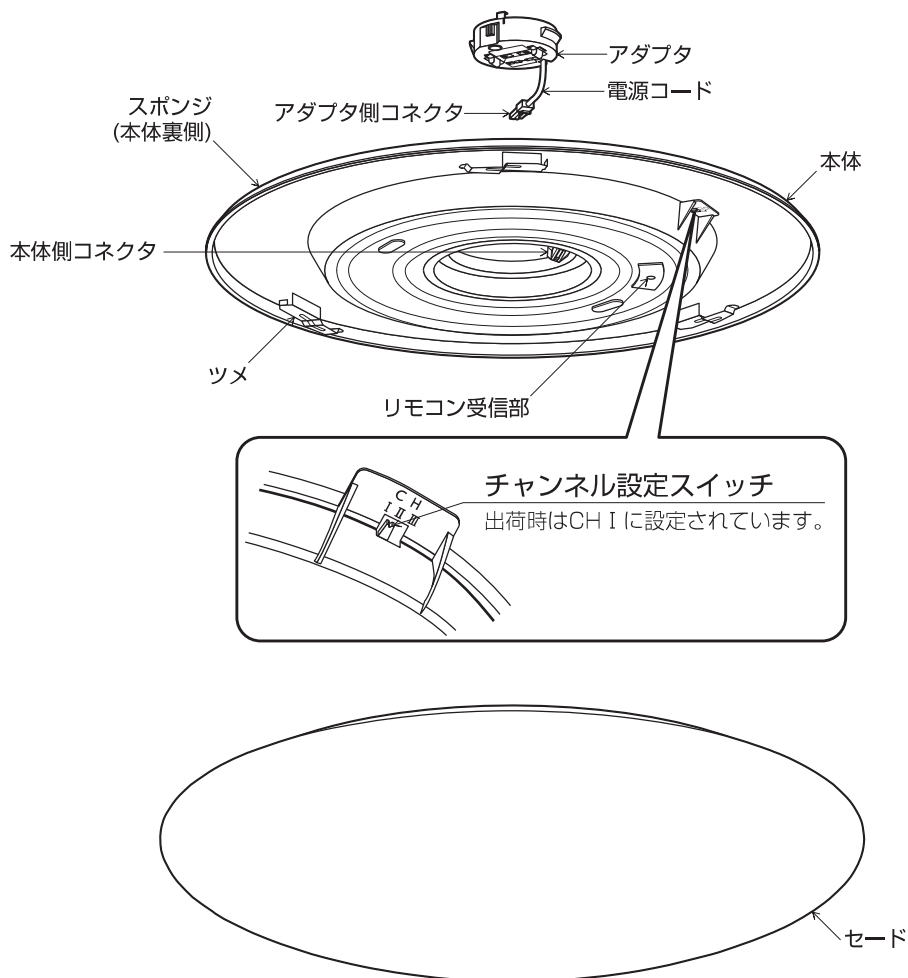
## 警告

天井に配線器具が付いていない場合は、  
電気工事店(有資格者)に取り付け工  
事を依頼する。  
(工事には資格が必要)

※天井の材質や構造によって、天井面が変色する場合があります。

■各部のなまえ・付属部品 △注意 取り付けの際は必ず電源を切る。(感電の原因)

※この図は一部抽象化した共通部品図です。  
 ※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取り付けないでください。



〈付属部品〉

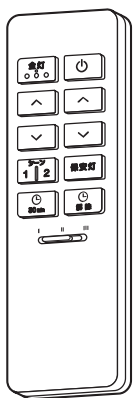


フル引掛シーリング・・・1個

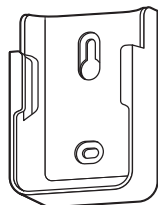


木ネジ・・・・・・・・・・2本

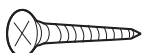
〈リモコン送信機一式〉



リモコン送信機・・・1個



ホルダー・・・・・・・・・・1個



取付用木ネジ・・・・・・・・2本



単4形電池・・・・・・・・2本



**警告**

アダプタは専用(付属部品)のものを使用する。  
 (専用のもの以外を使用すると、破損のおそれ)



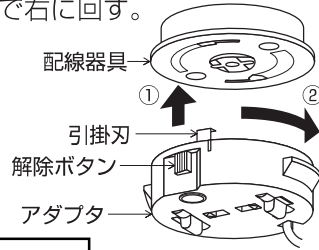
**警告**

本体裏側のスポンジをはがさない。  
 (器具のガタつきや回転防止、防虫のため)

■取付手順 △注意 取り付けの際は必ず電源を切る。(感電の原因)

## 1 アダプタを配線器具に取り付ける

アダプタの引掛刃(2本)を、配線器具にはめ込み、「カチッ」と音がするまで右に回す。



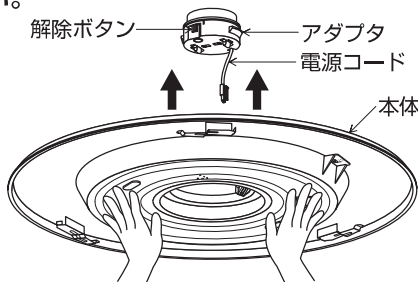
### 警告

解除ボタンを押さずに左に回し、外れないことを確認する。  
(アダプタの取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因)

## 2 本体を取り付ける

- ① 本体の穴に電源コードを通す。
- ② 本体を押し上げる。

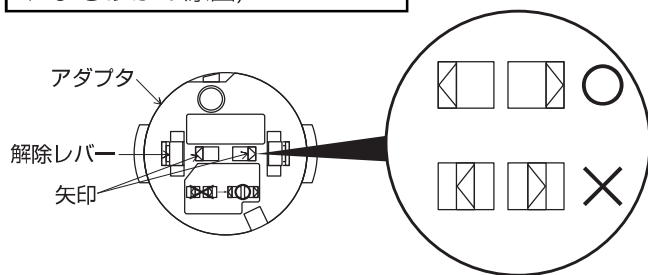
※本体の中央付近を押して、確実に取り付けてください。



※本体の取り付けは<埋込ローゼットの場合>、<その他の配線器具の場合>をご覧ください。

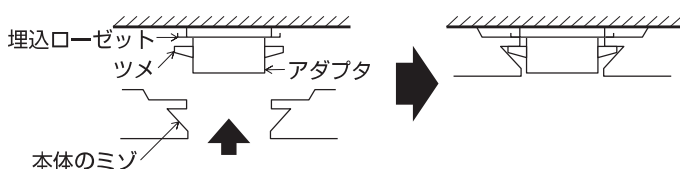
### 警告

解除レバーの矢印の先端が、アダプタの矢印の先端にくるまで本体を押し上げる。  
(取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因)



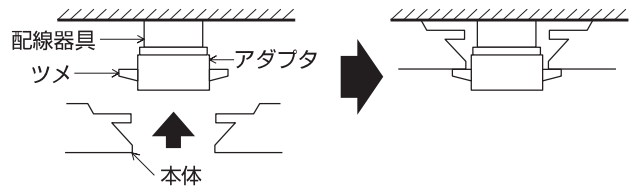
<埋込ローゼットの場合>

アダプタのツメに本体のミゾが引っ掛かるように1段階押し上げる。

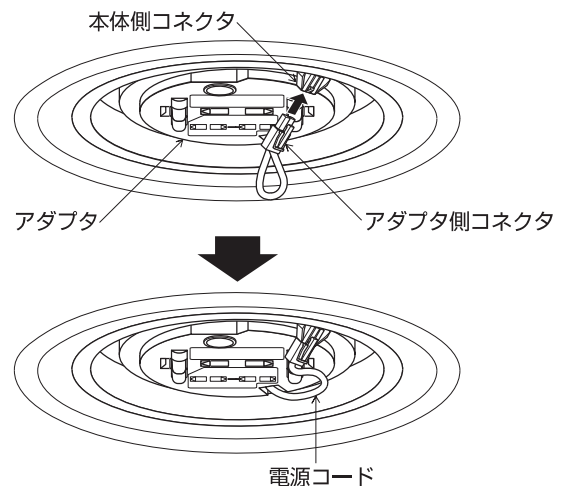


<その他の配線器具の場合>

アダプタのツメに本体が引っ掛かるように2段階押し上げる。  
本体がガタつく場合は再度強く押し上げる。

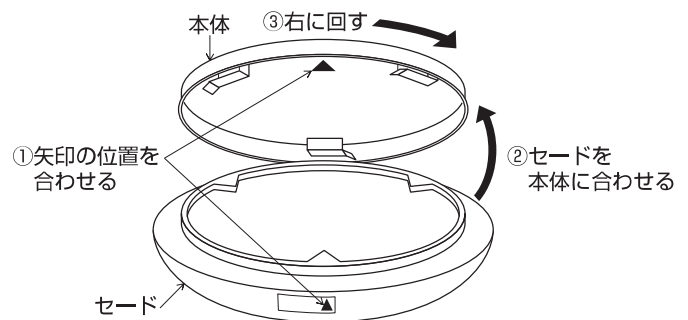


## 3 コネクタを接続する



## 4 セードを取り付ける

セード外側と本体の矢印が合う位置でセードを持ち上げ、「カチッ」と音がするまで右に回す。



### 警告

セードが確実に取り付けいたことを確認する。  
(取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因)

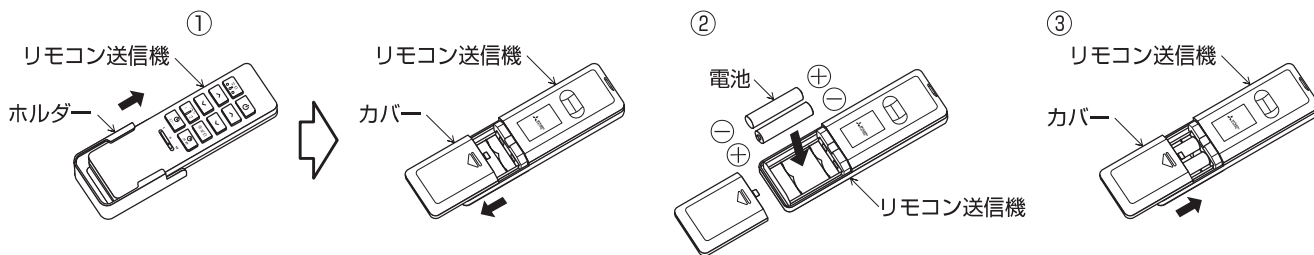
## 5 点灯の確認を行なう

## ■リモコン送信機について

### 1 リモコン送信機に電池を入れる

- ①リモコン送信機をホルダーから取り出し、カバーを外す。
- ②電池の極性を表示に合わせて入れる。
- ③カバーを取付ける。

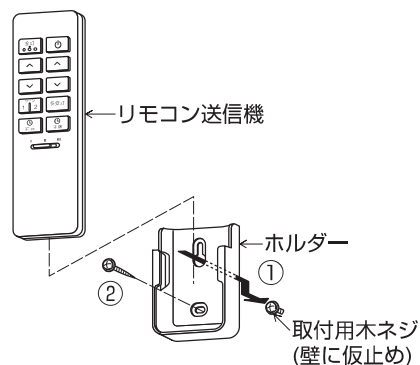
お買い上げ時にセットされている電池はモニター用電池ですので、早く切れることがあります。あらかじめご了承ください。



### 2 リモコン送信機を壁などに取り付ける場合

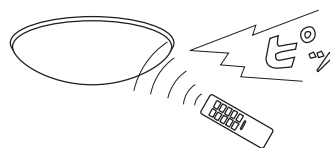
- ①必ず付属の取付用木ネジ1本を壁に仮止めしてから、ホルダーを引っ掛ける。
- ②2本目の取付用木ネジを取り付けてから仮止めの取付用木ネジをねじ込み、固定する。

※その際、強く締め込まないようにしてください。ホルダーが破損するおそれがあります。



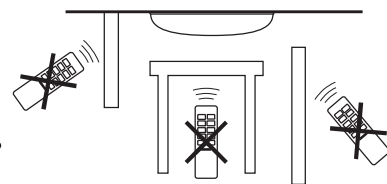
### 3 リモコン送信機を操作する

ホルダーから取り出し、器具に向けて行なってください。作動すると確認音が本体よりします。



### 4 使用上のご注意

- このリモコン送信機は、当社器具専用です。  
リモコン式テレビなどには使用できません。  
他社の照明器具が動作する場合がありますが故障ではありません。その際は、器具とリモコン送信機のチャンネルを切り替えてください。
- 電池の寿命は、1日10回の常温使用で約半年です。  
電池は半年を目安に、必ず2本同時に交換してください。  
※充電式(Ni-Cd)電池は使用できません。
- 器具によっては、反応が遅い場合がありますが故障ではありません。
- ボタンを早く押すと反応しないことがありますので、ゆっくり操作してください。
- 長時間使用しない場合は、壁スイッチをOFFにしてください。  
リモコン送信機で消灯した場合、照明器具側に待機電力がかかり、電力を消費します。
- 壁スイッチで電源を切った場合は、リモコン送信機を操作しても器具は動作しません。  
壁スイッチで電源を入れてから操作してください。
- リモコン送信機は、落としたり、水をかけたり、ふみつけたりしないでください。  
故障の原因になります。
- 温度の高くなるものの近くでは使用しないでください。  
過熱・故障の原因になります。
- リモコン送信機の発信部が汚れますと作動しにくくなります。  
乾いた柔らかい布などで汚れを拭き取ってください。
- リモコン送信機の周囲にしゃべい物がある場合、作動しない場所があります。  
しゃべい物をさけて再度ボタンを押してください。
- 器具をご使用になる部屋の天井・壁・床などの色が黒っぽいと、リモコン送信機が作動しにくい場合があります。



■リモコンで操作する ※壁スイッチがある場合、壁スイッチをONにし、リモコン送信機を操作してください。

## 1 リモコン送信機の操作について

リモコン送信機は必ず器具に向けて操作してください。  
また、リモコン送信機を操作すると、確認音が本体よりします。

### 全灯順送りボタン



### 寒色(ブルー)ボタン

点灯時の光色を調節できます。光色は寒色へ変わります。  
※リモコン操作での消灯時に押すと主光源がON/OFFボタンを押す前の点灯状態になります。

### 暖色(オレンジ)ボタン

点灯時の光色を調節できます。光色は暖色へ変わります。  
※リモコン操作での消灯時に押すと主光源がON/OFFボタンを押す前の点灯状態になります。

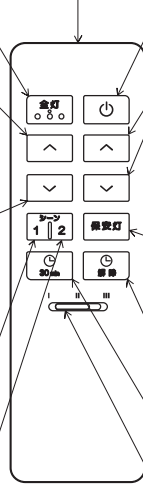
### シーン1ボタン

設定された調光・調色で点灯します。出荷時、主光源の調光は昼光色100%に設定されています。

### シーン2ボタン

設定された調光・調色で点灯します。出荷時、主光源の調光は電球色100%に設定されています。

### 発信部



### ON/OFFボタン

照明器具の点灯、消灯の切り替えができます。

### 調光(へ)ボタン

点灯時の明るさを調節できます。  
主光源(100%~約1%)をお好みの明るさに調節できます。(周囲温度約25℃時)  
※調光状態は、室温、器具状態によって多少変化します。  
※リモコン操作での消灯時に押すと主光源がON/OFFボタンを押す前の点灯状態になります。

### 保安灯ボタン

保安灯の点灯と明るさが調節できます。(5段階調光)  
※調光(へ)ボタンを押すごとに明るさを調節することができます。  
※出荷時、保安灯の調光は80%に設定されています。

### タイマー解除ボタン

タイマーが解除されます。

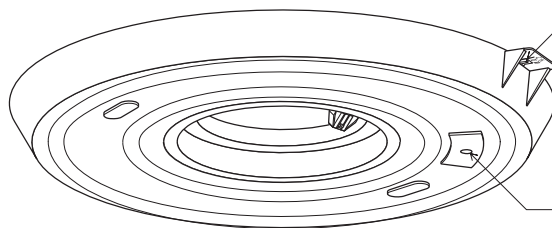
### オフタイマーボタン/(30min)

30分後に照明器具が消灯します。

### チャンネルスイッチ

複数台の照明器具を個々に操作する場合に照明器具側のチャンネルを合わせます。

## 2 リモコン受信部のスイッチについて



### チャンネル設定スイッチ

出荷時は I に設定されています。  
器具施工時に変更されている場合がありますので、「3チャンネルの設定について」をご確認ください。

リモコン受信部

## 3 チャンネルの設定について

### <1台の器具のみ操作する場合>

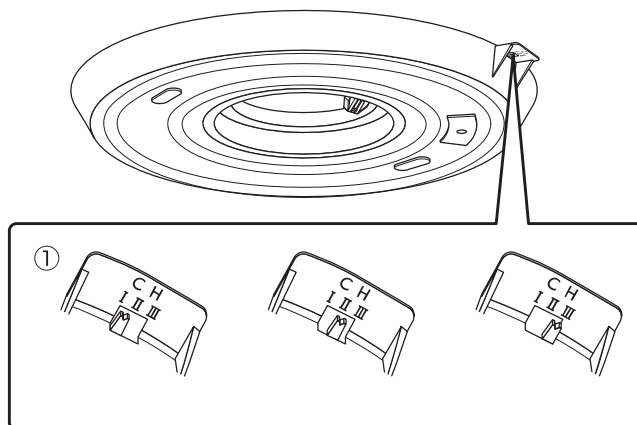
リモコン送信機のチャンネルを I にしてください。

### <複数台の器具を操作する場合>

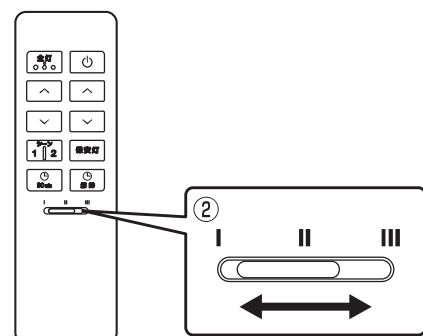
一室で複数台の器具をリモコンで操作する場合には、器具のリモコン受信部側のチャンネルをそれぞれ I II III に設定してください。

リモコン送信機側のチャンネルを操作したい照明器具のチャンネルに合わせてください。

### リモコン受信部側



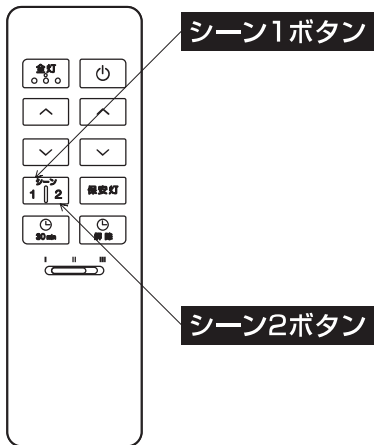
### リモコン送信機側



## ■シーンの設定について

お好みの明るさ・光色を2パターンメモリすることができます。

※出荷時、シーン1は主光源の調光は昼光色100%に設定されています。シーン2は主光源の調光は電球色100%に設定されています。



### ①シーンの設定

■リモコンで操作するを参照して、明るさ・光色を決定する。



シーン1ボタンまたはシーン2ボタンを長押しして、照明器具から確認音が「ピーピ」と鳴り、シーンがメモリされる。

### ②シーンの使い方

シーン1ボタンまたはシーン2ボタンを押すとメモリされた状態で点灯します。

※消灯中は、シーンの設定ができません。

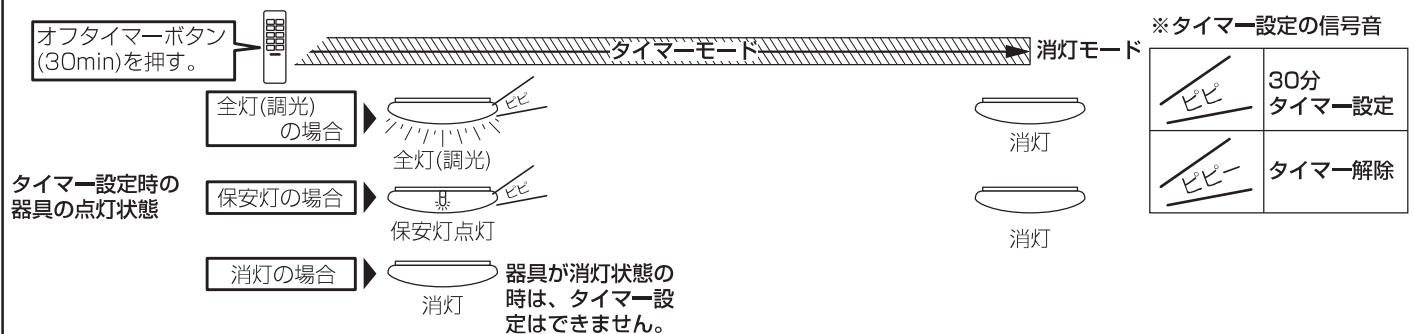
※リモコン送信機を操作すると確認音が照明器具よりします。

※シーン設定後、照明器具のチャンネルを切り替えると照明器具のシーン設定がリセットされます。再度、シーンの設定を行なってください。

## ■タイマーの設定について

30分後に消灯します。

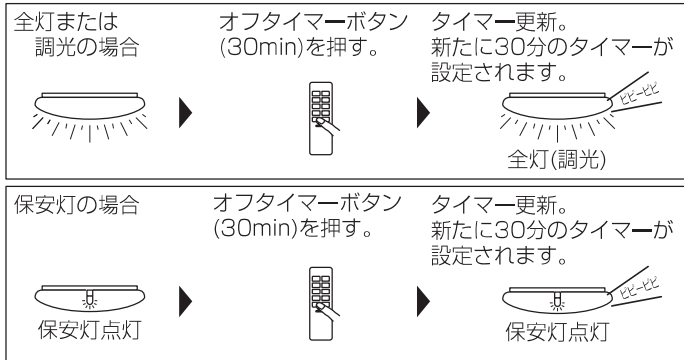
※オフタイマーボタン(30min)を押すと本体より確認音が「ピピ」と鳴り、タイマーが作動します。



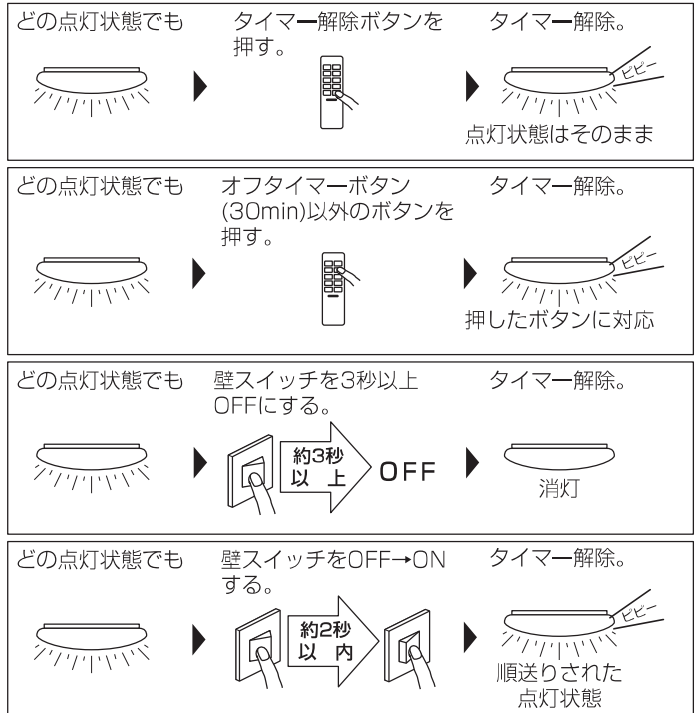
### タイマーを作動させるには



### タイマー時間の更新



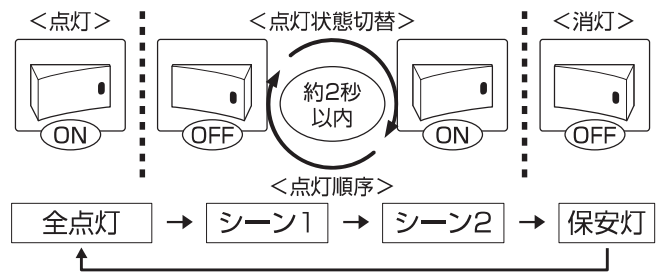
### タイマーを解除させるには





## ■壁スイッチで操作する (プルレス操作)

- 壁スイッチをONにすると点灯します。
  - ・壁スイッチをOFFにし、約2秒以内にONにすると点灯状態の切り替え(プルレス操作)ができます。
  - ※調光(調色)操作をされた後、プルレス操作をした場合、全点灯になります。
  - ※壁スイッチをOFFにし、約3秒以上過ぎてからONにするとOFFにする前の状態で点灯します。
- 1つの壁スイッチで2台以上の器具をプルレス操作することは避けてください。
- おでかけの際には壁スイッチをOFFにしてください。(壁スイッチがONの状態ですら一定時間の停電が発生した際には、停電前の点灯状態で復帰します。)
- 出荷時、シーン1は昼光色100%、シーン2は電球色100%、保安灯は80%に設定されています。



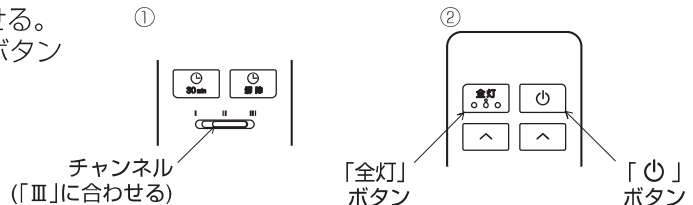
※シーン1とシーン2は、設定した点灯状態  
保安灯は、保安灯の前回点灯状態

### <プルレス機能解除について>

壁スイッチのプルレス操作によるシーン切替機能を解除できます。2台以上をプルレス操作した場合におこる光色のズレをなくし、好きな光色・明るさを固定して壁スイッチでON・OFF操作ができます。

### ●設定方法

- ①器具本体とリモコンのチャンネルを「Ⅲ」にあわせる。
- ②「**⏻**」ボタンを押しながら、3秒以内に「**全灯**」ボタンを3回押す。



## ■取外手順

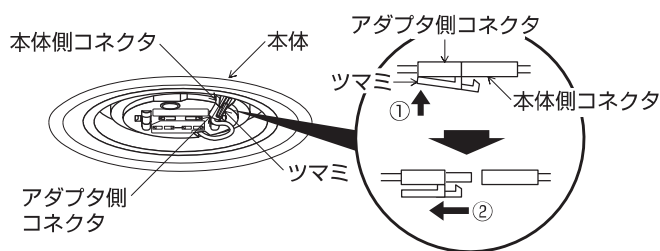
### 1 壁スイッチで電源を切る

### 2 セードを取り外す

セードを“カチッ”と音がするまで左に回して取り外す。

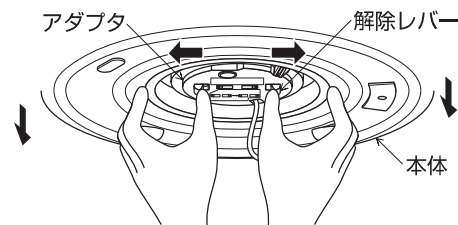
### 3 コネクタを取り外す

アダプタ側コネクタのツマミを押さえながら引き抜く。



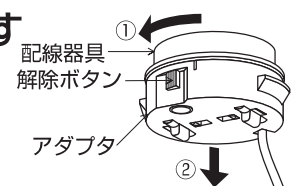
### 4 本体を取り外す

本体を支えながら、アダプタの解除レバーを外側に広げ、本体を取り外す。



### 5 アダプタを取り外す

アダプタの解除ボタンを押しながら、左に回し、アダプタを取り外す。



## ■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切る。(感電の原因)

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。ダイニング・キッチンなどの汚れやすい場所は年4回程度の清掃が目安です。
- 器具の汚れがひどいときは、柔らかい布を使用量の目安まで水でうすめた台所用中性洗剤につけてよくしぼってから拭きとり、さらに洗剤成分が残らないようによくしぼった水拭き用の柔らかい布で仕上げてください。台所用中性洗剤は、原液のまま使用しないとともに、シンナー、ベンジン、みがき粉やたわし、熱湯、アルカリ性洗剤、薬品などは使用しないでください。

**警告** 電源スイッチを切ってから行なう。(感電の原因)

**注意** 点灯中および消灯直後の器具には触らない。(高温のためやけどの原因)

**警告** ・みがき粉・ベンジンなどの揮発性のもの・合成洗剤・化学ぞうきんでふいたり殺虫剤をかけたりしない。(セードの割れ、傷、変色および落下によるけがの原因)

# 修理を依頼される前に

処置した後になお異常がある場合は、必ず電源を切り、工事店・電器店、三菱電機お客様相談センターにご相談ください。

●動作に異常があると思われる場合は下記の点検を行なってください。

現象	考えられる原因	処置
壁スイッチで照明器具を操作できない、または点灯しない	▶ プルレス操作が確実に出来ていない	▶ 電源のON・OFF状態がわからないタイプの壁スイッチをご使用の場合、操作を確実に行ってください (2秒以内のOFF→ON)
	▶ プルレス機能が無効になっている	▶ 照明器具とリモコン送信機のチャンネルを「CHⅢ」に設定し、ON/OFFボタンを押しながら3秒以内に <b>全灯順送り</b> ボタンを3回押し、プルレス機能を有効にする
リモコン送信機で照明器具を操作できない、または点灯しない	▶ 壁スイッチがOFFになっている	▶ 壁スイッチをONにする
	▶ リモコン送信機の電池の極性⊕⊖が間違っている	▶ 電池を正しく入れる
	▶ リモコン送信機の電池が切れている	▶ 電池を交換する
	▶ 照明器具とリモコン送信機のチャンネルが合っていない	▶ 照明器具とリモコン送信機のチャンネルを合わせる(説明書の■ <b>リモコンで操作する</b> をご確認ください)
勝手に点灯状態が切り替わる	▶ デモ用の動作モードになっている	▶ 照明器具とリモコン送信機のチャンネルを「CHⅡ」に設定し、ON/OFFボタンを押しながら3秒以内に <b>保安灯</b> ボタンを3回押し、デモモードを解除する
リモコン送信機で照明器具を操作した時に確認音がしない	▶ 確認音の消音モードになっている	▶ 照明器具とリモコン送信機のチャンネルを「CHⅡ」に設定し、ON/OFFボタンを押しながら3秒以内に <b>シーン1</b> ボタンを3回押し、消音モードを解除する
リモコン送信機で消灯したのに照明器具が点灯している	▶ リモコン送信機で消灯してから壁スイッチをOFF→ONにした	▶ 再度、電源が入ると消灯する前の状態で点灯するようになっています (お出かけの際は、壁スイッチをOFFにしてください)
	▶ 消灯中に、停電が起こった可能性があります	

## ■使用上のご注意

- リモコン操作時に、リモコン受信部の向きにより作動しにくい場合がありますが故障ではありません。器具の向きを変えてリモコン操作してください。
- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。器具と音響製品を離してご使用ください。
- 点灯および消灯後に器具構成材料の熱伸縮により若干のきしみ音が発生することがありますが、異常ではありません。
- 壁スイッチがONの状態ですべて一定時間の停電が発生した際には、停電前の点灯状態で復帰します。
- 停電などでプルレス操作がはたらき、明るさが切り替わる場合があります。その場合は、壁スイッチなどでお好みの点灯状態に設定しなおしてください。
- 電源OFF時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合、壁スイッチの使用は4個までとしてください。壁スイッチを5個以上使用される場合は、表示が点灯するタイプ以外のスイッチを使用してください。
- パイロットスイッチ(電源ON時に表示灯が点灯するタイプのスイッチ)を使用される場合は、表示灯がわずかにちらついたり、リモコンでの消灯時に微点灯することがありますが、異常ではありません。

## 保証とアフターサービス

### 保証について

- 保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのもと、大切に保存してください。
- なお、照明器具本体の故障もしくは不具合より発生した、付随的故障の責については、ご容赦ください。
- 保証期間は、お買上げ日から1年です。ただし、器具内蔵のLED光源・電源ユニットは3年です。  
※電池などの消耗品・カバー・リモコン送信機などは対象外とさせていただきます。  
※24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。
- 保証内容は、取扱説明書・本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料修理にさせていただきます。  
(イ)お買上げ後の取付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。  
(ロ)施工上の不備に起因する故障や不具合。  
(ハ)使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。  
(ニ)車両、船舶、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などの故障および損傷。  
(ホ)日本国内以外での使用による故障および損傷。  
(ヘ)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障および損傷。

### アフターサービスについて

- 修理を依頼される時  
ご使用を中止し、必ず電源を切ってから、お買上げの販売店にご連絡ください。
  1. 保証期間内の場合  
修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって、修理させていただきます。
  2. 保証期間を過ぎている場合  
修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。  
点検・診断のみでも有料となることがあります。  
修理料金は、技術料+部品代(+出張料)などで構成されています。  
技術料・・・故障した製品を正常に修復するための料金です。  
部品代・・・修理に使用した部品代金です。  
出張料・・・製品のある場所へ技術員を派遣する料金です。
  3. ご連絡いただきたい内容

品名	LEDシーリングライト
形名	本体発光面側に表示(セードをはずしてください)
お買上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども
お名前	
お電話番号	
訪問希望日	

- 補修用性能部品の保有期間  
当社は、この照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後6年保有しています。  
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 取扱い・修理のご相談は、まずお買上げの販売店へお申しつけください。  
・お買上げの販売店にご依頼できない場合(転居や贈答品)は、次頁の「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口のご案内」の各窓口へお問合わせください。  
・家電品の購入相談・取り扱い方法は「ご相談窓口」へ  
・家電品の修理の問い合わせ・修理の依頼は「修理窓口」へ
- お問合わせ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて  
三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。
  - 1.お問合わせ(ご依頼)いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
  - 2.上記利用目的のために、お問合わせ(ご依頼)内容の記録を残すことがあります。
  - 3.あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
    - ①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合
    - ②法令等の定める規定に基づく場合
  - 4.個人情報に関するご相談は、お問合わせをいただきました窓口にご連絡ください。
- 所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

愛情点検

★長年ご使用の照明器具の点検を！



ご使用の際  
このような  
症状は  
ありませんか

- スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。
- プラグ、コード、本体を動かすと点滅する。
- プラグ、コード、本体などが異常に熱い。
- こげくさい臭いがする。
- コードに傷や傷みが見られる。
- グローブ、セードなどにひびが見られる。



ご使用  
中止

故障や事故防止のため、電源  
スイッチを切り、必ず販売店  
に点検、修理を依頼してくだ  
さい。

ご相談窓口・修理窓口のご案内（家電品）

取扱い・修理のご相談は、まず  
お買上げの販売店へ

●お買上げの販売店にご依頼できない場合  
(転居や贈答品など)は、  
各窓口へお問い合わせください。

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

- 1.お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
- 2.上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
- 3.あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
  - ①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
  - ②法令等の定める規定に基づく場合。
- 4.個人情報に関するご相談は、お問合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

ご相談窓口 家電品の購入相談・取扱い方法

受付時間365日24時間

●三菱電機お客さま相談センター

いつもサンキュー 365日

フリーコール **0120-139-365** (無料)

●ご相談対応 平日 9:00~19:00  
土・日・祝・弊社休日 9:00~17:00  
上記以外の時間は受付のみ可能です。  
〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-10-3

携帯電話・PHSの場合

ナビダイヤル **TEL 0570-077-365** (有料)

ナビダイヤル **FAX 0570-088-365** (有料)

フリーコール・ナビダイヤルをご利用いただけない場合は  
TEL 03-3414-9655 FAX 03-3413-4049

修理窓口 家電品の修理の問合せ・修理の依頼

受付時間365日24時間

●三菱電機修理受付センター

フリーダイヤル

**0120-56-8634** (無料)

インターネット

**www.melsc.co.jp**

携帯電話サイト

空メールの送り先：**fc8634@melsc.jp**  
または2次元コードからアクセス。URLをメール返信します。



携帯電話・PHSの場合

ナビダイヤル **TEL 0570-01-8634** (有料)

ナビダイヤル **FAX 0570-03-8634** (有料)

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。  
●電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

K15A

三菱電機株式会社  
三菱電機照明株式会社

〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船2-14-40  
☎(0467)41-2729(営業本部)  
☎(0467)41-2773(品質保証部サービス課)